夢こまち　小規模
はたのだより

敬老の日おめでとう！

9月は敬老の日にみんなで乾杯したあとお寿司や松花堂弁当など、いつもより少し豪華なお昼ごはんでお祝いしました。
また、他にもお菓子作りや蓮の花ドライブなどで楽しみました！✿

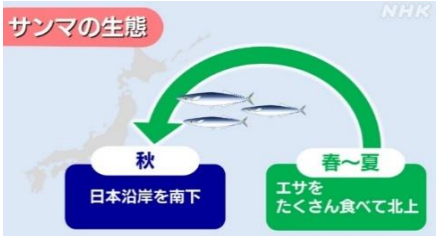
今月の誕生日

サンマ不漁なぜ？今年は？

秋の味覚でなじみ深いサンマですが、このところ深刻な不漁が続いています。
北海道根室市では、8月中旬に初水揚げされたサンマは、大きいサイズで1キロあたり13万円で取り引きされました。
ことしの漁獲量の見通しや不漁の原因などについてまとめました。

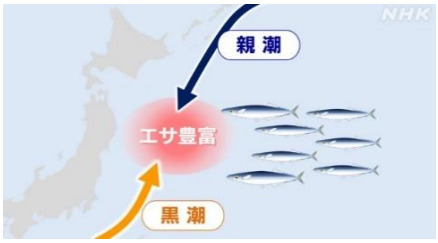
不漁と小ぶりの原因とは？

ことしも不漁が見込まれるサンマですが、そもそも例年春から夏にかけて太平洋でエサのプランクトンを食べながら北上します。そして、エサを食べて脂の乗ったサンマは、秋になると日本の沿岸を南におりてきて、漁獲されてきました。
国の研究機関「水産研究・教育機構」によりますと、最近は日本の近くにサンマが来なくなり、ことしも北西太平洋にやってくるサンマは、低水準にとどまると予測しています。



なぜ低水準にとどまると予想しているのか？

サンマは、比較的、冷たい海を好み以前は北からの親潮にのって南下していました。ところが近ごろは親潮が日本近くになかなか入り込まなくなりました。
とくに2010年代後半以降、親潮の流れが変わり、サンマが日本から離れたところで南下するようになったとみられています。
その結果、サンマの成長も悪く、大きさも小ぶりになってしまいました。
北海道から東北にかけての太平洋の近海は、親潮と黒潮がまざってプランクトンが豊富に発生することで知られています。
しかし、沖合はエサがそれほど豊富ではないため、サンマの成長が悪くなった上に、稚魚の数も減ったと推測されています。
その上、漁業者にとっては漁場が遠くなったため、水揚げの頻度が落ちることになってしまいました。
さらに、船の燃料代高騰や人手不足などの影響もあり、採算が取れないと判断する漁業者も増えているとのこと。
今では高級魚になってしまった秋の味覚「サンマ」食卓に出てきたら
味わって食べたいですね



～10月イベント予定表～

ハロウィン壁飾り作り	10月中
お誕生日会	10月22日
紅葉と足湯ドライブ	10月下旬

※都合により、行事日程や日程が変更になる場合があります。
※天候や状況により多種多様な活動をスタッフと一緒に楽しんで頂いています。

【はたのへお問い合わせ】TEL 0183-73-2060 ✉ fukusi@komachi.or.jp